

三人第 1 5 7 号
令和 7 年 1 1 月 1 日

各区長 様

三木市人権推進課
課長 藤田 英子

第 4 2 回総合隣保館文化祭のチラシの回覧及びポスターの
掲示について（依頼）

晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、隣保館事業に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の総合隣保館文化祭を令和 7 年 1 2 月 7 日（日）を中心に開催いたします。

つきましては、多数の方にご来館いただきたく、お手数をおかけしますが、チラシを全戸回覧いただくとともに、ポスターの掲示についてご協力をお願いいたします。

記

1 配 布 物

(1) 総合隣保館文化祭チラシおよびポスター

（ポスターの掲示期間は 1 2 月 8 日（月）まででお願いいたします。）

2 問 合 せ 先

三木市人権推進課（三木市立総合隣保館）

電話：8 2－8 3 8 8

担当：近藤、福寄

三人第 1 5 7 号
令和 7 年 1 1 月 1 日

各区長 様

三木市人権推進課
課長 藤田 英子

第 4 2 回総合隣保館文化祭のチラシの配布及びポスターの
掲示について（依頼）

晩秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、隣保館事業に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の総合隣保館文化祭を令和 7 年 1 2 月 7 日（日）を中心に開催いたします。

つきましては、多数の方にご来館いただきたく、お手数をおかけしますが、チラシを全戸配布いただくとともに、ポスターの掲示についてご協力をお願いいたします。

記

1 配 布 物

(1) 総合隣保館文化祭チラシおよびポスター

（ポスターの掲示期間は 1 2 月 8 日（月）まででお願いいたします。）

2 問 合 せ 先

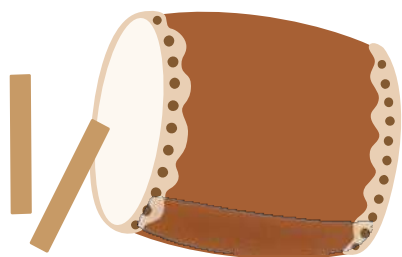
三木市人権推進課（三木市立総合隣保館）

電話：8 2 － 8 3 8 8

担当：近藤、福寄

「神楽師」豊采冢玉之助さん(三木市出身) の数々をお楽しみください。

など > 場所: 1階 大会議室



~11:30

うちを吹き込み、いのちをつなぐ〜
多本 大士さん

~15:00

~ (舞台発表終了後)



00~15:00

各団体による
飲食等のお店

が周囲



三木市立自



事 務 連 絡

2025(令和7)年11月1日

各 区 長 様

三木市人権・同和教育協議会

会 長 鷺 尾 孝 司

「三同教だより No. 27」の回覧について(依頼)

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、人権啓発の推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「三同教だより No. 27」の全戸回覧について、お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 送 付 物 | 三同教だより No. 27 |
| 2 送付部数 | 回覧部数分 |
| 3 連 絡 先 | 三木市人権・同和教育協議会事務局
三木市市民生活部人権推進課(総合隣保館内)
三木市志染町吉田 823
TEL : 82-8388 (担当 : 山本・前田) |



三同教だよ

三同教は、人権尊重のまちづくりを市民のみなさんと進めています

2025(令和7)年11月

No.27

三木市人権・同和教育研究大会 開催！

～みなさんでいっしょに人権について考えませんか？～

三木市人権・同和教育協議会では、今年度も研究大会を行います。それぞれの団体の取組について実践報告を行い、それを基に参加者みなんで人権について考えます。近年、新たな人権課題が増えたり、人権についての考え方が変わったりしています。そんな人権について、皆さんで考える機会をもちませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。

日時 2025年11月15日(土) 13時30分～16時

場所 各分科会会場 (受付 13時より)



《第1分科会》こども園

「命の大切さ」

－飼育をとおして生き物の気持ちを考える－

報告 りんでん認定こども園

会場 サンライフ三木 1階 多目的ホール

《第2分科会》小学校

「地域とともにある教育事業をめざして」

報告 三木市立志染小学校

会場 教育センター 4階 中研修室

《第3分科会》高校

「さまざまな人が共生する社会」

－他者理解と自己理解－

報告 兵庫県立吉川高等学校

会場 教育センター 3階 セミナー室1・2

《第4分科会》PTA・保護者

「みんなで考える人権教育」－今から何ができるか－

報告 三木市立吉川中学校 PTA

研修会 なおみ助産院 寺尾直美さんの講演

「子どもが幸せに生きるためにできること」

会場 中央公民館 2階 第1・2研修室

《第5分科会》地域

①「友愛はたがいにささえ ささえあう」

－人とのつながりを通して 心豊かな生き方を－

報告 緑が丘町老人クラブ連合会

②「誰もが心豊かで住みよいまちを目指す」

－住民学習と研修の成果－

報告 細川地区人権・同和教育推進協議会

会場 中央公民館 4階 大ホール

《第6分科会》企業

「聖地から紡ぐ」

報告 吉川まちづくり公社

会場 サンライフ三木 2階 研修室

《第7分科会》*特別分科会*

「多様性に配慮した災害に強いまちづくり」

－災害時要配慮者への取組を通して－

報告 三木市総合政策部危機管理課

会場 教育センター 4階 大研修室

防災

だれでも参加
どの分科会でも参加
当日参加も

OK!
OK!
OK!



詳しくは、こちら ⇒
(三同教 HP)



各地区の人権研究大会が開催されます

みなさんも参加してみませんか

三木市には、各地区で人権啓発を進めている人権・同和教育推進協議会(地推協)があります。その地推協主催の研究大会がこの11月から開催されます。

それぞれの地区で、人権作文の発表があったり、人権講演会があったりして、市民の皆さんに人権について考えていただく絶好の機会になっています。

お住いの地区以外で行われる研究大会にも参加していただくこともできます。ぜひ、ご参加ください。

☆各地区の人権研究大会(日程順)

志染地区地域づくり研究大会

月日：2025年11月1日(土)

場所：志染町公民館 大会議室

内容：人権作文朗読(小学生・中学生)

人権スピーチ 志染小 入江爽太さん

実践発表 2つの自治会から発表

人権講演会(講演と落語会)

演題「男女共同参画△は〇〜くね」

講師・三遊亭楽団治さん

三木地区人権ミニフェスティバル

月日：2025年11月23日(日)

場所：中央公民館

内容：人権啓発展示(11/22~12/5)

(ポスター・啓発パネル・クイズコーナー)

人権作文朗読(小学生・中学生)

人権講演会

演題「障がいは違えど

困り事と解決策は同じ」

講師 デザイナー 菊澤こゆりさん

細川町豊かな町づくり推進大会

月日：2025年11月30日(日)

場所：細川町公民館 大会議室

内容：住民学習取組報告

人権作文朗読(小学生・中学生)

人権講演会

演題「つらい気持ちに

寄り添うために」

講師 NPO法人ゲートキーパー支援センター

理事長 竹内志津香さん

口吉川町地域づくり研究大会

テーマ「人権を大切にする

明るい地域づくりをめざして」

月日：2025年12月6日(土)

場所：口吉川町公民館

内容：自治会の実践発表(3自治会)

人権作文朗読(小学生・中学生)

記念講演会(人権落語)

演題「笑いでつなぐ心と心」

講師 多可町人権啓発専門員

近藤文好さん

「あったかいいいな大会」(吉川地区)

日時：2025年12月13日(土)

場所：吉川町公民館 大ホール

内容：人権作文朗読(小学生・中学生)

映画上映：ドキュメンタリー映画

「ぼけますから、よろしくお願いします。〜おかえりお母さん〜」

講演会：演題「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」

講師：株式会社信友家 信友直子さん(上映映画の監督)

三木南地区人権教育研究大会
テーマ「人にやさしい三木南地区の集い」
月日：2026年1月24日（土）
場所：三木南交流センター
内容：人権パネル展（1/15～1/30）
【男女共同参画に関する啓発パネル】
人権講演会：演題「 未定 」
講師：関西国際大学保健医療学部
准教授 高田美子さん

ひと・まち・であいセミナー（青山地区）
【男女共同参画セミナー】
月日：2026年2月7日（土）
場所：青山公民館 中会議室
内容：講演会
演題「災害時の人権問題」
講師 NPO政策研究所
主任研究員 相川康子さん

自由が丘地区人権教育研究大会
テーマ「人権を大切にする
明るい家庭づくり街づくりを進めよう」
月日：2026年2月15日（日）
場所：自由が丘公民館
内容：人権作文発表
（小学生・中学生・地域住民）
講演 演題「 未定 」
講師 兵庫県人権啓発協会講師

別所地区人権教育研究大会
テーマ「すべての人の人権が尊重される
明るく住みよいまちづくり」
月日：2026年2月1日（日）
場所：別所町公民館 大会議室
内容：実践発表（PTA・別所地推協）
人権作文発表（小学生・中学生）
講演会
演題「差別をなくすための自己点検
～部落差別の視点から～」
講師 近畿大学人権問題研究所
講師 瀬戸 徐 英里奈 さん

緑が丘町まちづくり推進大会
月日：2026年2月8日（日）
場所：緑が丘町公民館 大会議室
内容：緑が丘中学校吹奏楽部演奏
人権作文発表（小学生・中学生
・高校生・関西国際大学学生）
人権講演会
演題「 調整中 」
講師 太神楽師 豊来家玉之助さん

まだ決定していない内容については、それぞれの地推協からの案内をご覧ください。また、各地区の公民館までお問い合わせください。

今年もバリアフリー映画会を行いました！

今年も「市民じんけんの集い」と同じ日の8月16日（土）の午後にバリアフリー映画会を行いました。

今年の映画は、**ディズニー映画「インサイドヘッド」**を上映しました。夏の暑い時期でしたが、家族そろって来ていただいたり、友だちと誘い合って参加していただいたりして、約180名の皆さんに楽しんでもいただくことができました。特に、就学前の小さなお子さんから小学生が半数以上おられ、楽しい夏休みの一日になったことと思います。

☆参加者アンケートより

- ・人権に関わりがありつつ、子どもがしっかり見ることができるアニメの上映ですごく良かったです。
- ・障がいのある子を映画に連れていけないので、こういう上映会はすごくありがたいです。周りを気にせず、ゆっくりと見ることができました。

12月じんけんフィールドワーク

「神戸空襲戦跡」ウォーク



兵庫県 薬仙寺にある
空襲・慰霊碑

8月には、奈良の万葉文化館（明日香村）と水平社博物館（御所市）を訪れて、研修を深めました。特に、部落差別解消に向けて水平社を立ち上げた創設者の想いや行動に関する説明では「人はみな平等」や「人権の大切さ」を感じることができ、参加者の皆さんからは、「有意義な研修ができた」や「同和問題に少し関心をもつようになりました」などの意見をいただき、好評価をいただきました。

今回は、戦後80年の節目の年に、平和や人の命の大切さについて考える機会として、神戸市内に残る「神戸空襲の戦跡」を見て回る企画を立てました。「神戸空襲を記録する会」の小城事務局長さんのガイドにより、各戦跡について説明していただきます。

JR兵庫駅前をスタートし、兵庫区の南部に残る「空襲戦跡」を回ります。その戦跡を回りながら、平和の大切さについて一緒に考えましょう。

- ◆ 実施日 **12月13日（土）** 8時30分～16時30分
- ◆ 参加費 無料
- ◆ 内 容 兵庫区の神戸空襲戦跡ウォーク と 兵庫津ミュージアム
- ◆ 募集人数 20名(先着順) **11月17日受付開始**～12月4日（木）
- ◆ 申込み TEL：82-8388 FAX：82-8658

メール：sandokyo_a@city.miki.hyogo.jp まで

全人教研究大会のご案内

今年の全国人権・同和教育研究大会は、兵庫県と大阪府で行われます。兵庫県は西宮市の関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスで、大阪府は3か所で開催されます。今回は分科会のみで開催となっています。そしてこの大会では、東播磨の大会と兵庫県の大会で高評価を得た「こども日本語教室みきっず」の大西慶志さんが報告者として参加されます。

全国規模の人権に関する研究大会です。様々な報告がされ、活発な討議も期待されます。皆さんの人権感覚を磨く絶好の機会になります。近くで行われますので、ぜひ参加してみてください。

詳しくは、三同教事務局（三木市立総合隣保館内）、電話82-8388 までお問い合わせください。

(公 印 省 略)
三人第 1 4 3 号
令和 7 年 1 1 月 1 日

各 区 長 様

男女共同参画センター所長 藤田 英子

情報誌「こらぼーよ 第 7 4 号 2 0 2 5 ・ 秋」について
(依頼)

晩秋の候、貴職にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、まちづくり地域活動の振興について、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、別添のとおり三木市男女共同参画センター情報誌「こらぼーよ 第 7 4 号 2 0 2 5 ・ 秋」をお届けいたします。

つきましては、誠に恐縮に存じますが、貴地区での回覧をお願い申し上げます。

記

- | | |
|-------------|--|
| 1 送付物 | ・ 三木市男女共同参画センター情報誌
「こらぼーよ 第 7 4 号 2 0 2 5 ・ 秋」 |
| 2 お届けの枚数 | 各地区の回覧枚数 |

【担当課】市民生活部 人権推進課
男女共同参画センター
(三木市立教育センター内)
TEL : 8 9 - 2 3 3 1

～市民がつくる～
三木市男女共同参画センター情報誌

くらぼよ

くらぼよとは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
～しようよの組合せ

第74号
2025・秋

秋号のテーマ
「アンパイドワークは女性が担うもの？
～男性の家事・育児への参画～」



主夫日記
～家事の役割分担～

育児休業を取得する若い世代へのエール

ぼくの育児体験記②
～育休(育児休業)を終えて～

令和7年度 弁護士による法律セミナー

もしもに備える相続セミナー
～家族を守る正しい知識～

講師:吉倉 美加子さん(弁護士)

日時:令和7年11月26日(水)
10時～11時30分
会場:三木市立教育センター
4階 中研修室
定員:会場40名 Zoom 60名
申込:男女共同参画センター
☎0794-89-2331



11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫・パートナー等からの暴力、性犯罪、セクハラ、ストーーカー行為等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。



女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク



ジェンダーレンズで何が見える？誰もが暮らしやすいわたしたちのまち

ぼくの育児体験記②～育休（育児休業）を終えて



6か月間の育休取得を終え、長期間育児に携わることができ非常に充実した日々を過ごしました。初期の頃は寝返りもできなかったのに、今はつかまり立ちやパパ、ママと言葉を発するようになりました。さらに感情もでてきてよく動き回るので目が離せなくなっています。

この育休中に子どもと2人で何回もお出掛けしました。生後3か月からお出掛けをしましたが、初めの頃は結構大変でした。

常に子どもに集中し、せわしなく行動していました。また、ミルクは規定量飲まないでダメ！といった固定観念に縛られていたため、外出しても楽しめませんでした。最近は月齢が大きくなってきたこともあり、ミルクも離乳食もよく飲み、よく食べるようになりました。そのおかげで以前に比べると外出がはるかに楽しくなりました。ベビールームが完備されている施設が多くあり、男性1人でもオムツ替えをする事ができます。たまに大泣きするとママがいい！という時があるので、その時はパパの無力さを感じますが、それでも子どもと2人きりの外出は楽しいです。



育休中には資格の勉強をしようと思い、子どもが寝た後やすき間時間を利用して勉強し、自己啓発に努めました。また、パパの育児日記は1日も欠かすことなく書くことができ、将来子どもに見せるのが楽しみです。

家計の状況として、ベビー用品（主に消耗品）に月約1万5千円かかりました。

また、私の場合育休手当の振込が4か月後だったため、最低限生活に必要な資金が4か月分は必要だと感じました。それまでは貯金や妻の出産手当金を頼りに生活をしていました。



8月、復職するに当たり会社からオンラインで復職面談がありました。

育児の悩みや復職後の勤務形態などの内容で、休職中は会社の人と関わる機会がどうしても少ないため、こうした面談は非常にありがたく感じました。また戻るポストがあるという安心感にも繋がりました。

子育ては自分自身が思うようにはいかず、大変な思いもしながら毎日試行錯誤の日々でした。お互いの両親や助産師さんにも育児のアドバイスをもらい助けられました。ミルクの飲みが悪い、離乳食を食べない時など、夫婦でいろいろな方法を子どもに試すことができたのも育休を取ってなかったら気づけない部分でした。自分が親になって初めて気づくことが多く、子育てを通じて両親の偉大さを実感し、深く感謝するようになりました。

まだまだ子育ては始まったばかりで、これから大変なことが山ほどあります。初期に育児に携わり夫婦でたくさん話し合い、子どもとたくさん接することができたので、大変よい経験となりました。

育休制度を利用することで子どもの成長を間近で見ることや新たな気づきができますので、是非とも期間を問わず育休を取得してみたいはいかがでしょうか。 編集委員：N

子育てに関する情報を知りたい時

「三木市子育て応援ハンドブック（電子版）」は
こちら→



「みき子育て応援 Navi」はこちら→



三木市子育て応援
ハンドブックは
毎年リニューアル
しています！



※冊子を希望の方はこども福祉課へ



育児休業を取得する若い世代へのエール



近年、育休（育児休業）を取得する若い世代が着実に増えています。

厚生労働省の調査*によれば、令和6年度の育休取得率は女性で86.6%、男性も40.5%となっています。数字の上でも、子育てと仕事を両立させたいという意識が社会に広がっていることが分かります。また、「法律による後押し」も大きな役割を果たしているといえるでしょう。育休は「一部の人だけが取る特別な制度」から「誰もが利用できる身近な制度」へと変わりつつあります。

一方で、中小企業にとっては代替人材の確保や業務分担の面で負担が大きく、育休制度を十分に活用できていない現実もあります。それでも、社員が安心して育休を取得できる環境づくりは、働きやすい職場づくりにつながります。また、長期的に見れば人材の確保や定着など、企業にとっても大きなメリットがあるでしょう。

「男性が育休を取ることは当たり前になる」という時代を迎えつつあるものの、身近に育休を取得してきた先輩社員は少ないかもしれません。女性・男性ともに「育休中どのように過ごすのか」が手探り状態になっている方もいらっしゃるでしょう。「僕の育児体験記」のNさん夫婦のように、どちらかに負担が偏ることのないよう、育休中の生活についてしっかり話し合うようにしてくださいね。無償労働といわれる「アンペイドワーク」を女性ばかりが負担することのないようにしましょう。



育休に関して、上司や親世代、周りの人の中には理解を得ることが難しい人もいるかもしれませんが、一歩踏み出す姿勢は未来を変える力を持っていると信じています。私たち親世代も若い世代の選択を応援しています。子育ての苦労だけではなく、楽しさもパートナーと分かち合ってくださいね。

編集委員：〇

*「令和6年度雇用均等基本調査」<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r06/06.pdf>

男女共同参画センターの取組

① お父さん向けのセミナー（紹介）

三木市男女共同参画センターでは、こども福祉課と共催で、子育て中のお父さんを対象としたセミナーを開催しています。過去にはこんな講座を開催しました。

- ・「ダイナミックに遊んじゃおう！～パパとつくるダンボールハウス～」
R7.2.9（日）開催 パパとお子さん（未就学児）対象の工作教室
- ・「今年はおにぎらずだよ！パパと一緒に作っちゃおう！」
R7.8.24（日）開催 パパとお子さん（小学生）対象の料理教室



*** 今後も定期的開催しますので、広報みさや男女共同参画センターのホームページ、三木市のX（エックス）などをぜひチェックしてください！**

② 「女性のための相談室」【0794-89-2354】

家族や友人、職場の人間関係や子育て、介護などの悩みに対して、女性相談員がお話をお伺いします。

詳しくはこちら→





主夫日記 ～家事の役割分担～



いつも主夫日記にお付き合いいただきありがとうございます。

最近の我が家では、妻の働き方が週5日のフルタイムから、週3日のパートタイムに変わりました。皆さんのご家庭では家事の役割分担はどうされているでしょう？



これまで我が家では、僕がほとんどの家事をしていました。毎日、夕方には早めに帰宅し、買い物や食事の準備、洗濯物の片付け、お風呂の用意などをしていました。

今は、妻と仕事の曜日が異なるので、どちらか休みの方が家事担当になりました。

仕事の日には家事のことはあまり考えなくていいので、気持ちに余裕ができました。一人で家事をしなくていいのはこんなに楽なことなのですね。

普段の生活における家事・育児・介護など、また地域での自治会やPTAの活動、さらにはボランティアなどの社会活動はどれも必要な労働であるにもかかわらず、給料などの対価は支払われず、社会的に評価されることもあまりありません。これらはアンパイドワークと呼ばれるそうです。

最近は共働き世帯が増えているにもかかわらず、家庭でのアンパイドワークは主に女性が引き受けている場合がまだ多いのではないのでしょうか。

これからの時代、男女がともに能力を発揮するためには、アンパイドワークを含め、公平に役割を分担する社会になっていく必要があると思います。

さて、ぼちぼち買い物に行かなくっちゃ！



編集委員：I

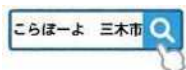
*** 今後の男女共同参画センター主催の講座 ※ 要：事前申込 ***

テーマ	講師	日時	会場
であい・ふれあい・語り合い	黒崎 輝美さん	11月18日(火) 13:30～15:00	中央公民館 (申込み不要です)
モノストレスゼロの暮らし	魚林 佐起子さん	11月26日(水) 10:00～12:00	三木南交流センター
人生100年時代！ どう生きる？	瀧井 智美さん	令和8年1月17日(土) 10:00～12:00	教育センター3階
みんなで助かる防災 ～私にできることを考えよう～	相川 康子さん	令和8年2月7日(土) 10:00～11:30	青山公民館



三木市男女共同参画センター 愛称：こらぼーよ

ホームページからも
ご覧いただけます



三木市福井 1933-12 教育センター3階
TEL:0794-89-2331 FAX:0794-82-8120
開館日時：月曜～金曜 9時～17時(祝日を除く)

企画・編集：情報誌こらぼーよ編集グループ
発行：三木市男女共同参画センター

<編集後記>

私が小さい頃は、家事は専ら「母担当」というイメージでしたが、最近は父も洗濯や料理をしてくれることが多くなりました。意識の変化があったのかもしれません、毎日の帰宅時間が前より早くなったことも原因の一つではないかと思っています。残業も多く、遅くに帰ってきてから家事をするのは誰でしんどいです…。

毎日定時帰り、とまではいなくても、やはり日々の家事等を協力し合って取り組むためには、社会や環境の整備も必要なのかな、と感じます。

編集委員：F